

こんしゅう せま と ぐち
今週のことば「狭い戸口」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》ルカによる福音書 13:22-30

と ぐち
戸口を
せま ひと
狭くしている人

イエスは狭い戸口から入るように言っ
ています。しかし、戸口を狭くしている
のは誰なのかを考えてみる必要がありま
す。イエスが入ろうとしても入れないと
考えていた人は、当時のユダヤ教の支配
者たちでした。律法を絶対的に守るべき
ものと考えていた人たちは、貧しいため
に律法を守れない人々や、病気の人々を
罪人とみなして、神殿に近づくこともゆ
るませんでした。

このために、人々は自分たちは神から
みはなされていると考えるようになりま
した。イエスはこのような人々に近づき、
むしろ真っ先に神の国に入ることができ
ると言って回りました。

自分たちの利益をあげることを優先し
て考えがちな私たちはどうでしょうか。
日本は資源が少ないので、金にものをい
わせて、世界中の国々からいろんなもの
を買ってあさっています。そのために、自

ぶん た つく ゆしゅつ
分たちの食べるものを作るより、輸出で
きる産物を国が優先的に作っているため、
しょくじ くる ひと
食事もろくにできなくて苦しんでいる人
たちがたくさんいます。このようなこと
をしていては、狭い戸口から入れなくな
ってしまいます。

かみ くに はい ひと
神の国に入る人

イエスは「人々は、東から西から、ま
た南から北から来て、神の国で宴会の席
に着く」と言っています。神の国に入る
戸口は決して狭くはないのです。戸口を
狭くしているのは、狭い考えにとらわれ
ている人々なのです。

私たちは、自分自身が狭い考えにとら
われていないか、よく調べる必要があり
ます。日本にいては当たり前と思っている
ことであっても、他の国の人々にとって
は耐えられないことがあるのです。つま
り、自分で気づかないでしていることで
あっても、その結果人々を苦しめている
場合があるのです。神の国に入るために
は、狭い考えを捨てる必要があります。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの
年間第21主日C年(滝野)